

平成27年度 朝日大学 附属病院 摂食嚥下障害研究会

第100回記念講演会お知らせ

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、朝日大学附属病院摂食嚥下障害研究会は岐阜県下の摂食嚥下障害のある人への医療や福祉を前向きに検討するため、学校関係者、施設関係者や医療関係者に幅広く参加を呼びかけて、摂食嚥下リハビリテーションの普及に努めています。近年、障害の重症化や障害者の高齢化にともない、さまざまな医療的および介護支援を必要とする人が増えてきており、医療連携を考えるうえで大きな問題になっています。今回は当研究会が通算100回の研究会開催を記念して、下記の講演会を企画いたしました。つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

— 記 —

- ・日 時： 平成27年4月12日（日）午後1時から午後3時まで
- ・場 所： 朝日大学1号館3階第4大講義室 (<http://www.asahi-u.ac.jp>)
- ・テーマ： 『摂食嚥下リハビリテーションの最近のトレンド-プロセスモデルで考える咀嚼と嚥下-』
- ・講 師： 松尾浩一郎先生（藤田保健衛生大学医学部歯科・教授）
- ・会 費： 無 料（申し込み不要、嚥下リハ学会認定士で参加証を希望される方は当日500円）
- ・その他： 本講演会は日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士単位セミナーに該当します。（上記の学会認定療法士は当日、受付で申し出て下さい。参加証を発行します。）

なお、講演会終了後に同会場にて、松尾先生を囲んで交流会を予定しています。日ごろの疑問や悩みについて直接、お話を伺う機会を設けました。多くの方のご参加をお待ちしています。

講演会の概略

松尾浩一郎先生は、摂食嚥下リハビリテーションの研究者として第一人者であり、摂食嚥下リハビリテーションを通じて、その診断や評価法および対応などの実践についても深い造詣があります。現在は藤田保健衛生大学医学部歯科の教授として幅広く活躍されています。

Palmerが提唱したプロセスモデルでは、「食べる」機能を咀嚼から嚥下までの一連のプロセスとして捉えています。今回の講演では、単なる「嚥下」へのアプローチではなく、「咀嚼嚥下」に注目した摂食・嚥下の基礎と臨床への応用について嚥下内視鏡や嚥下造影の映像を用いながら解説していきます。咀嚼嚥下、液体嚥下の正常像、異常像を見ることで、その違いや対応方法の変化を再確認していただきたいと思います。

このように摂食嚥下障害のある人たちへの対応やリハビリテーションについて、分かりやすくお話をさせていただきます。歯科医師の先生を始め、歯科衛生士、介護者、施設職員、学校関係者まで幅広く講演会にご参加していただき、『摂食嚥下リハビリテーションの最近のトレンド』について理解を深めて、明日からの取り組みの参考になればと思います。

連絡先：〒501-0296

岐阜県瑞穂市穂積1851

朝日大学歯学部附属病院

障害者歯科

玄 景華（げん けいか）

TEL&FAX：058-329-1105（直通）